

夢づくり協働推進事業の実施状況 20

事業名

トマト栽培を核とした村づくり・地域力の向上

事業の概要

平成 18 年に発足した新見市トマトサポート協議会の活動を通じ、新見市神郷地区をモデル地区としてトマトの新規参入者を中心とした新規就農者の確保を図り、トマト産地の拡大と地域活性化を図った。

協働の主体、役割分担

協働の主体	役割分担内容
新見市トマトサポート協議会	阿新農協トマト部会：農業研修及び地域受入れ 農協：生産販売指導及び実務研修事業実施 市：県外就農相談会での産地、地域紹介及び事業助成等 市農業委員会：住宅、農地の紹介 普及センター：県内外での産地、地域紹介及び事業推進

実施状況

1 就農相談会（県内外）での産地、地域紹介	県内 6 回、県外（大阪市） 5 回	
2 トマト栽培見学ツアーの開催 ・栽培ほ場と選果場の見学及び生産者との交流	7/14 新見地域オリエンテーション	17 人
3 短期農業体験研修の実施 ・栽培管理及び収穫体験、選果場見学	6 回	6 人
4 新規就農促進連絡会議の開催 ・関係機関及び関係者の役割分担、住宅及び農地の情報提供	8/16 新郷市民センター	
5 農業体験研修の実施（1 か月間） ・農作業及び農村生活体験の実施	9 月 1 日～ 30 日	1 人
6 農業実務研修の実施（1 年間） ・農作業の実践トレーニング及び就農候補地（空家、農地）の見学	4 月 1 日～	1 人
7 定年帰農者等に対する就農支援 ・就農準備講座での栽培管理実習	5 回	延べ 35 人

成果・効果

- 1 農業体験研修及び農業実務研修で新規参入者各 1 名の受入れがあった。
- 2 就農準備講座の受講生 1 名が平成 22 年度から本格的にトマト栽培を開始する。
- 3 新規参入者の受入れを中心とした新規栽培者の確保体制が定着してきた。